

## 信仰の歴史を伝える霊山

## 秩父御岳山

実施日 2010年11月13日(土)  
 天候 晴/曇  
 リーダー 鈴木 政三  
 参加者 佐藤金治、島本陳重、鈴木政三、  
 鈴木恵美子、遠井謙策、伊藤久  
 雄、石原勝正 計7名  
 費用 2,260円  
 (池袋起算 秩父フリー切符)  
 タイム 三峰口駅(9:30)強石登山口  
 (10:00~10:05)杉ノ峠(11:10~  
 11:20)秩父御岳山(12:35~13:05)  
 タツミチ(13:35)町分登山口  
 (14:40)三峰駅(14:55)

雨で2度中止したりベンジ山行であるが、今回も直前に落合ルートへの崩落がわかり、前日にルート変更を余儀なくされるなど難儀な山である。

今朝は山行日和、三峰口駅から荒川を右手に眺めながら旧道を強石バス停に向かう。

万年橋を渡り国道を右に入ると間もなく左手に登山口の道標がある。町道をショートカットしながら民家の間の生活路を進むと暫くして尾根筋入口の道標を見る。

落ち葉の踏み音を楽しみながら急坂を登る。杉ノ峠から鉄



塔のある 838 地点を過ぎると紅葉が広がりその向こうに両神山が望める。

急勾配で岩などもあるやせ尾根をやっ

と越える、秩父御岳山はまだ先に、あとひと登りで頂上。

そこは狭い場所で小さな祠(普寛神社の奥社)があり、北、西側の展望が開けて見通しが良い。



下山は滑りやすい急坂が続く、猪狩山への道を分け町分コースに入る、新しい道標があり迷うことはない。



これから人工林の中を黙々と下る。案内書には山の神、猪ノ鼻分岐等の地点表

示があるが全く認識しないまま三峰口駅が見下ろせる 500 地点に到達。

ジグザグに下り墓石道を経て町分登山口に出る。

三崎口駅までは華やかな人の群れ、白川橋から見る紅葉の溪谷美、駅前広場もイベント会場で賑わいを見せていた。



直前の計画変更にも関わらず参加して頂いた皆様有難うございました。

(記・鈴木 政三)

(写真提供・伊藤久雄)

